

2023年5月21日 大菩薩/大黒茂谷  
メンバー：L石原、谷内、岩田、村中

沢デビューの村中さん向けに大菩薩エリアの大黒茂谷へ行ってきました。  
きれいなナメ、苔で滑りやすい足元、高巻きのいやらしさ、後半の連瀑体を直登すればロープワークも経験できるので初心者が沢の色々な要素を知るにはとても良いルートです。

釣り人がおおく、過去にもちょっとした悶着のあった沢なので、8時入渓となるようにスタート。二俣以降の10m級の滝3つはロープを出して登ってもらい、休憩込み4時間弱の遡行で奥の二俣手前の3段滝。村中さんはアルパイン等多少の心得もあるので、沢デビューでしたがここから詰めずに沢下降も体験してもらいました。

二俣付近の山道まで下降してそこからは作業道で下山。途中一箇所崩落していてルートを探る高巻きがありましたが、これも沢の要素のひとつとして理解を深めてもらえれば。

また、気温もこの時期としては高く、汗ばむ陽気のなかを快適な遡行となりました。5月の沢はまだ早いのではと疑問を感じている他のメンバーにとっても、このエリアなら充分楽しめるといことがわかってもらえてよかったのではないかと思います。

#### 【コースタイム/天候】

5/21 曇/晴

三条新橋/6:50～大黒茂谷出会（入渓）/8:00～～奥の二俣手前、3段10m滝/11:45

ここより沢下降～1500m山道交差（脱渓）/13:00～大黒茂谷出会（入渓）/14:00～三条新橋/14:50

（村中）

初めて沢登りに参加しました。参加したと言っても手取り足取り連れて行ってもらったという感じでしたけれど。服装に関しては「夏山のちょっと寒いくらい」に対応したものを指示されていましたが、ややオーバー気味に準備しました。結局、駐車場から入渓点までの歩行で外界の暑さを実感し、ズボンの下に履いていたスパッツは脱ぎました。

天気は薄曇りから時々晴れ間が見られ、新緑の下に爽やかな光が入ってきました。時折水に濡れても、長袖のシャツ1枚とズボン1枚でちょうどよい気温でした。

沢登りは普段の山登りで感じる「川」とは全く違いました。林道からは見えないゴルジの深い青。沢の音を聞きながら、水の温度、苔のぬめり、岩のゴツゴツした感覚、手足でそれらを実感しながら歩くことで山をより近くで感じられました。

最初は岩がどの程度滑るのかが見た目からは判断できず、斜度のあるところには少し不安がありました。高巻き時に枯れ葉がのっているところでも一部「怖いな」と思うところも

ありましたが、不安なまま進むことなくロープでサポートしてもらいました。  
写真を取りたい景色がたくさんあったのですが、初めてでそんな余裕がありませんでした。  
同行の皆さんが送ってくれた写真を見返して、沢の気持ちよさを筋肉痛とともに反芻しています。不慣れなために過度に全身に力が入っていたのかもしれませんが、全身を使って沢を登った充足感があります。  
次は泊まりで行きたいです。

